

□ 中国ではぜいたく品の輸入税が高い

(質問)「中国での各商品の輸入関税率を調べるには」というQ&Aページで、中国の輸入関税に関する説明を読みました。その中でどうしても理解できない数字がありました。CIF価額30万円のゴルフクラブにかかる10%の消費税が38,000円になるとの説明ですが、30,000円のミスタイプでしょうか、または消費税率が違うのでしょうか？それとも何か特別に複雑な計算方式があるならお教えください。

(1) 中国での”消費税”計算式

中国での”消費税”は日本の旧物品税のようなものでタバコ・酒・資材・輸入贅沢品などに従価税、重量税などの方式で課徴されます。輸入贅沢品に対する消費税は次のような複雑な計算式で算出されます。

消費税 = $(\text{CIF価額} + \text{関税額}) \div (1 - \text{消費税率}) \times \text{消費税率}$
 消費税率が10%なら(CIF価額+関税額)の11.11%、化粧品のように30%だと(CIF価額+関税額)の42.85%にもなる特殊な累進課税方式です。

(2) 中国では関税のほか增值税や消費税も

以前のQ&Aページには、中国では輸入関税と增值税(税率17%)を輸入通関の際に同時に払う仕組みになっていることを説明したついでに、中国語では消費税と呼ぶゴルフ用具、酒類、高級装身具やなどの贅沢品などにかかる10%～30%の税金があることを書きました。中国での輸入関税などの諸税は輸入者側の経費なので、日本の皆様にはあまり関係ないと思い詳細を省きましたが、ここでは少し詳細にご説明いたしましょう。

輸入関税額 = CIF(運賃保険料込) 価額 × 輸入関税率

增值税額 = (CIF 価額 + 関税額 + 消費税額) × 増税率

消費税 = $(\text{CIF価額} + \text{関税額}) \div (1 - \text{消費税率}) \times \text{消費税率}$

(3) ゴルフクラブの輸入では約50%の諸税がかかる

関税・消費税・增值税に関し「ゴルフクラブセット」を例に詳細に説明しましょう。

商品番号(HSコード)95063900

日本からの関税 14%(優惠:特惠関税の意味)

增值税 17% 消費税 10%となっています。

CIF価額が30万円であれば：

$$\text{①関税額} = 300,000 \times 0.14 = 42,000 \text{ 円}$$

輸入贅沢品に対する消費税は次のような複雑な計算式で算出されます。

$$\text{②消費税} = (\text{CIF価額} + \text{関税額}) \div (1 - \text{消費税率}) \times \text{消費税率}$$

$$= 342,000 \div (1 - 0.1) \times 0.1 = 38,000 \text{ 円}$$

$$\text{③增值税額} = (\text{CIF価額} + \text{関税額} + \text{消費税額}) \times \text{増税率}$$

$$= (300,000 + 42,000 + 38,000) \times 0.17 = 64,600 \text{ 円}$$

こんなわけで輸入者が通関の際に支払う諸税は

$$\text{関税} + \text{消費税} + \text{增值税} = 42,000 + 38,000 + 64,600 = 144,600 \text{ 円}$$

このほかに通関費用や検査費用などが加わると、CIF価額のおよそ50%の通関関連経費が掛かる訳です。最終的には消費者に転嫁されてゆく性質の税金ですが、最近輸入贅沢品に関する課税品目が増えています。

(4) 2016年4月から空港検査が厳しく

2016年4月初めから空港手荷物検査が更に厳しくなって旅行者や海外製品運び屋業(代理購買行)の人たちがパニックになっているようです。観光客が爆買した商品を無税で通関していたことへの反動が始まったわけです。転売目的で大量に商品を持ち込む人々も多くいました。従来、実質的に青天井だった金額制限も一人5,000元の上限が設定されました。

特に化粧品の輸入関税率は日本からの場合は特惠関税で6.5%から15%(ネイル・髪染め・整髪料)だが、消費税率が口紅・ネイル・アイマーク・白粉などは30%なので関税・增值税を入れると80%程度課税されるそうです。

(4) ゴルフセットの持ち込み

外国人が旅行者としてゴルフセットを持ち込む分には運動用具として無税で持ち込めます。しかし、ほかに課税品を無申告で持っているとか、検疫に引っかかる品物などを持っていた場合は課税されるリスクもあります。

商品として送る場合は、決済金額と異なる申告用インボイスをつけるケースが一般的でしょうが、旅行者に託送して持ち込む方法が一番ずる賢いやり方です。

あまり詳しくお書きする訳には行きませんが、例えば上海行き航空機の場合、日本人ビジネスマンの利用が多いANAやJALの虹橋飛行場行きの便や、夜中・早朝に到着する便では手荷物検査や課税はさほど厳しくないようです。